

# Change and Make “安曇川”

一生懸命 ～学ぶ・動く・つながる～

## ☆高島市の未来を提言・・・2/25高島市役所で3年生がプレゼンしました。

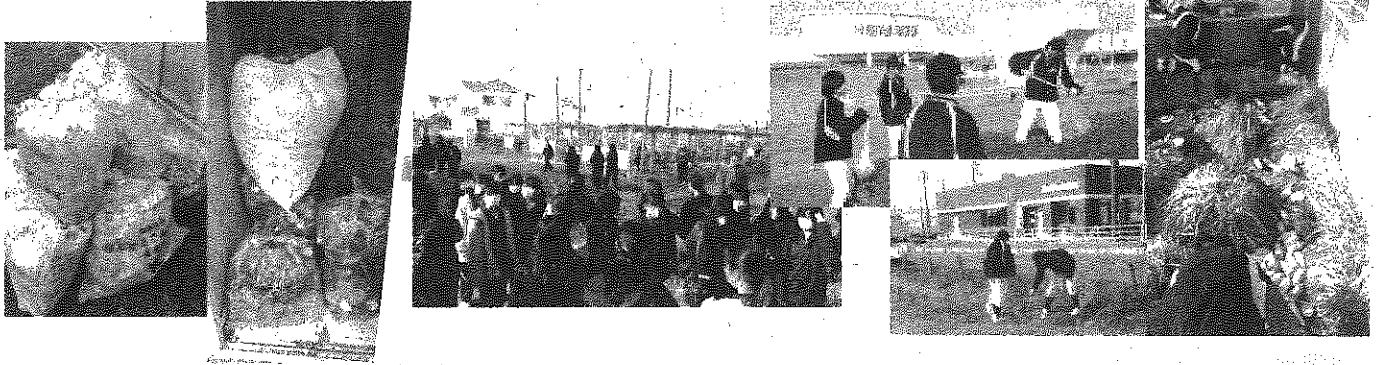
2月25日(金)高島市役所新館3階の会議室で、3年生が社会科公民の学習で「地方自治と私たち」について学習し、高島市の未来について考え、まとめた内容を発表しました。

代表として発表したのは、宮田絢加さん、熊谷啓行さん、山本絆生さん、鈴木友香さん、一井悠人さん、澤村理央さん、清水啓吾さん、福井優斗さんです。それぞれが、高島市の未来を明るくするため、人口減少にストップをかけるため、商業や農業などの産業面や交通面、観光資源や住みよい町など様々な視点から考えたこと等を述べました。市職員の方々との話し合いも経て、市職員として働きたいという声も聞こえました。



## ☆今年度最後のASV・・たくさんのゴミを拾えました！！

3月5日(土)8:30から、今年度最後の安曇川中学校サポートボランティアチームのゴミ拾いボランティアを行いました。道路の雪もかなり解けたところで、かなりのゴミが集まりました。3年生も数名参加してくれ、1,2年生は多くの部が活動前に参加してくれました。総勢70名以上でした。みんなの手で街がきれいになるといいですね。



### 2年生との話を終えて・・

校長室等で生徒一人ひとりに話を聞くということを昨年度に引き続き行い、3学期の2年生で終了しました。2年生には、「中学校3年間でどんなことができるようになりたいか」と「どんな学校にしたいか、そのために自分は何をするか」ということを聞きました。3年生の様に全員分を細かく紹介するのは、紙面的に読みづらいので、大まかにまとめた内容を掲載します。

「中学校3年間でどんなことができるようになりたいか」という質問に最も多かった答えは、

『勉強・・』に関することです。70人中27人の人がいろんな勉強する力を身に付けたいと話してくれました。

続いて多かったのは『部活・・』に関することです。自分の力を伸ばしたい人、チームとしての成績を残したい人など様々でした。

あいさつやコミュニケーション力アップなどを挙げた人も多く、10人以上の人がしっかりできるようになりたいと話してくれました。

自分の行動面を掲げた人も多く、出てきた言葉は決断力、継続する力、判断力、行動力、リーダーシップ、チャレンジです。小さい時から続けていることの上達をしたいという人も何人かいました。それぞれが、目指すところに向かって努力していってくれると期待できるものでした。

「どんな学校にしたいか、そのために自分は何をするか。」という問いかけには、

『明るい』『あいさつができる』『みんなが笑顔』『みんなの仲が良い』『みんなで楽しく』という順に答えが多かったです。

『いじめがない』『きれいな学校』を挙げてくれる人も多く、『自分の意見を堂々と言える』や『注意がしあえる』『自分がいいと思ったことを積極的にできる』など、そんな学校に是非してほしいとおもうこともたくさんありました。

また、『地域から信頼される』『困った人を助けられる』『ルールやマナーを守れる』『言葉遣いがしっかりでき、傷つく人がいない』なども挙げてくれました。

「そのために自分はどうするか」という質問には、ほとんどの人が、

『まずは自分から始める』『雰囲気を作るために自分から動く』というように自分から行動を起こしていくことが大切だと考えていました。

3月15日(火)、3年生が卒業していきました。明日からの安曇川中学校を背負っているのは君たち2年生です。でも、このような考えを聞くことができ、大変頼もしい気持ちをもつことができました。

みなさん一人ひとりの行動が安曇川中学校を作っていきます。こんな学校にしたいという思いをみんなでお話し合い、よりよい目指す姿を探し、ともに行動していくというのも校友会活動の一つではないかと思えます。今までに新しい安曇川中学校になっていくことを心から期待しています。